

■ 参考：東急プラザ蒲田の歴史

1968年11月1日、東急不動産初の全館ショッピングビルとして、また蒲田エリアにはなかった百貨店機能を備えた店舗構成で誕生したのが蒲田東急ビル（現：東急プラザ蒲田）。当時のコンセプトは“銀座に行かなくても、銀座にある商品が蒲田で買える！”で、開業当日には約17万人ものお客様に来館いただきました。7階にあった食堂街の中央には、円形広場が設置され「トレヴィの泉」を模した噴水がお客様たちを和ませる場所として活躍しました。



その後、名称を都市型商業施設ブランドである「東急プラザ」に変え、開業以来蒲田駅前の賑わいを牽引してきました。2014年10月に大規模なリニューアルを行い再オープンし、現在に至ります。

■ 屋上「かまたえん」の観覧車について

東急プラザ蒲田屋上「かまたえん」の観覧車は、都内唯一の屋上観覧車として、蒲田のランドマークになっています。

1968年に設置され、初代の通称「お城観覧車」から、1989年に2代目の「グレ太の観覧車 フラワーホイール」にバトンタッチし、今日まで親子三代のお客様にご利用いただくなど、多くのお客様に楽しい思い出をお届けしてきました。2014年3月にリニューアルのため一時閉店する際、閉鎖の危機を迎えましたが、皆様から存続を望む応援の声をいただき、2014年10月のリニューアルでは、カラーリングを新たに復活しました。ネーミング公募を行い、寄せられた全2,938通の中から、地域に『幸せ』を届ける願いを込めて「幸せの観覧車」に決定しました。

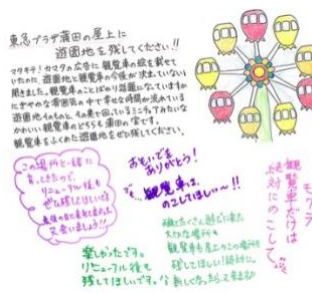
URL：<https://kamata.tokyu-plaza.com/kamataen/>



初代 通称「お城観覧車」
(1968年~1989年)



2代目「グレ太の観覧車
フラワーホイール」
(1989年~2014年)



皆様からの、観覧車の復活
を願う温かいメッセージ



3代目「幸せの観覧車」
(2014年~)